

『豊かな心で人と関わり、互いを尊重し合うことのできる児童の育成』

－国際交流を中核に据えたふれあい交流活動を通して－

あま市立甚目寺西小学校

1 目的

校訓「明るく やりぬく たくましい子」のもと、豊かな心で人と関わり、互いを尊重し合うことのできる児童の育成をめざし、人と人との「交流」に重点を置いた教育活動を推進します。

2 内容

(1) 学校・家庭・地域が一体となって進める心の教育

ア スリーハート運動「親子標語」

本校では、毎年、規範意識の高揚とモラル向上をめざした標語づくりに取り組んでいます。親子で知恵を絞って作った多数の標語の中から3点の優秀作品を選び、1枚のポスターにしました。出来上がったポスターは、5、6年生の児童が、地域の公共施設や民間の商業施設へ出向き、掲示の依頼をしました。



－ポスターの掲示を依頼する児童－
(甚目寺郵便局)



－優秀作品ポスター－

イ 学校だより「スリーハート」の配付と公開

学校だより「スリーハート」を毎月発行し、各家庭に配付および本校ホームページに掲載するとともに、地域にも回覧し、学校での児童の様子を、広く伝えてきました。



－学校だより「スリーハート」－

(2) 地域と育む温かい人間関係

ア 甚目寺地区「民踊クラブ」の方々との交流

3、4年生が、運動会の表現運動に、地元で踊り継がれている『甚目寺小唄（盆踊り）』を取り入れ、甚目寺地区民踊クラブの方々の指導を受けながら練習に取り組みました。運動会当日も、民踊クラブの方々とともに、笑顔で踊り、地元への愛着を深めるよい機会とすることができました。

イ 地域の方々とふれあう総合的な学習や学校行事

地域の方々と温かいふれあいを大切にした学習活動を進めています。

1年 運動会でのふれあい競技（地元老人クラブ）

2年 地域への訪問（交番、郵便局、金物屋、ケーキ屋、弁当屋等）

- 3年 地域への訪問（公民館、総合体育館、歴史民俗資料館）
出前授業（カルビー）
- 4年 地域での学習・訪問（七宝焼き体験、消防署見学、清掃工場等）
出前授業（ドリームマップ）
- 5年 出前授業（地球温暖化防止）
- 6年 出前授業（カルビー、地球温暖化防止）

（３）国際社会をたくましく生き抜くことができる児童の育成

ア 人と“つながる力”を育てる児童相互の交流活動

人と“つながる力”を育てていくための土台づくりとして、異学年交流活動に取り組んでいます。『わくわくグループ』と名付けた縦割り班を編制し、下記のような異学年交流活動を進めてきました。活動を通して、下級生は上級生を信頼してその指示に従い、上級生は下級生を自然に気遣っている姿が随所に見られ、子どもたちの交流の深まりを実感できました。

- * わくわくタイム（縦割り班でいっしょに遊ぶ）… 年３回
- * にこにこランチ（縦割り班でいっしょに弁当を食べる）… 年３回
- * クリーン活動（縦割り班で学校周辺の清掃活動に取り組む）
- * 長縄大会（縦割り班で長縄跳びを競い合う）

イ アメリカ・マロニー小学校児童との交流活動

昨年度より、手紙やプレゼントの交換をし、少しずつ交流を深めてきたアメリカ・マロニー小学校の児童とその家族、引率の先生が来日されることになりました。歓迎会や交流授業、ホームステイを通して、子どもたちはもちろんのこと、我々教師や保護者も、「自らが作っている『心の壁』こそが、人が“つながっていく”上での障害となっている」



— マロニー小児童との温かいふれあい —

ことに気づき、自ら心をひらくことの大切さを改めて学ぶことができました。

３ 評 価

多くの方々との温かい出会いとふれあいを大切にした活動を計画的に積み重ねてきた中で、互いを尊重し合う児童が着実に育ってきています。

４ 課 題

多様な取組を通して、子どもたちは、互いを気遣い、相手の目線に立つてものごとを考えることができるようになってきました。こうした姿を一時的なものに終わらせず、継続した力、つまり実践力へとつなげていくため、あらゆる場面において、繰り返し、子どもたちに働きかけていきたいと考えています。